

1日目：2018年10月27日（土）10時～17時20分（予定）

（敬称略）

10:00-	開会の挨拶	玉木敦子（第15回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会 大会長）	メイン会場
10:05-10:45	会長講演	座長；岡野禎治（三重大学 名誉教授 ／日本周産期メンタルヘルス学会 理事長） 「妊産婦に『寄り添う』ということ」 演者；玉木敦子（神戸女子大学看護学部 教授）	メイン会場
10:55-12:15	シンポジウム①	座長；新井陽子（北里大学看護学部生涯発達看護学） 座長；笠井靖代（日本赤十字社医療センター産婦人科） 「妊産婦や家族の思い：周産期メンタルヘルスに求められているもの」 1. 「産後うつ病を経験した母親の思い、ニーズ」 演者；高橋秋絵（神戸女子大学看護学部看護学科：看護師） 2. 「発達障害の特性のある親のニーズと支援を考える —自閉症スペクトラム障害の方への支援を通して—」 演者；大橋優紀子（北村メンタルヘルス研究所：看護師） 3. 「妊産婦や家族の思い：産後2週間健診をふまえて」 演者；小澤千恵（埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター：助産師）	メイン会場
12:30-13:20	ランチョンセミナー（共催；ホリスティックケアプロフェSSIONALSスクール）	座長；工藤美子（兵庫県立大学看護学部教授） 「妊娠や育児ストレスに対する臨床アロマセラピーの可能性」 演者；相原由花（ホリスティックケアプロフェSSIONALSスクール学院長）	第2会場
ランチョンセミナー終了後、メイン会場で総会・評議員会を行います。 日本周産期メンタルヘルス学会の正会員・評議員・理事の皆様はご出席をお願いいたします。			
13:30-13:50	総会・評議員会	正会員（評議員・理事を含む）は、必ずご出席ください。	メイン会場
14:00-15:00	基調講演	座長；鈴木利人（順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 副院長 ／順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学分野 教授） 「周産期精神医学の歴史と発展」 演者；岡野禎治（三重大学 名誉教授 ／日本周産期メンタルヘルス学会 理事長）	メイン会場
15:10-17:20	シンポジウム②	座長；胡内敦司（松戸市 総合政策部 兼 子ども部 兼 教育委員会学校教育部 ；審議監） 座長；渡邊博幸（木村病院／千葉大学社会精神保健教育研究センター ；精神科医）	メイン会場

		<p>「妊産婦のこころを支える：さまざまな場と専門職の役割」</p> <p>1. 「子育て世代包括支援センターにおける保健師の役割」 演者；藤原美輪（兵庫県加古郡稲美町 健康福祉部健康福祉課健康推進係 ：保健師）</p> <p>2. 「母の支援、子の支援」 演者；小林喜実代（尼崎総合医療センター地域医療連携センター ：医療ソーシャルワーカー）</p> <p>3. 「大学病院で妊婦に出会う リエゾン精神看護専門看護師の“寄り添う”ための調整」 演者；安藤光子（滋賀医科大学医学部附属病院：精神看護専門看護師）</p> <p>4. 「産後ケアにおける助産所・助産師の役割：開業助産師の立場から」 演者；毛利多恵子（毛利助産所：助産師）</p> <p>5. 「妊産婦のこころを支える：精神科医の立場から」 演者；清野仁美（兵庫医科大学精神科神経科学講座：精神科医）</p> <p>6. 指定発言：「専門職・関係機関の連携による妊産婦支援と行政の役割」 演者；胡内敦司（松戸市 総合政策部 兼 子ども部 兼 教育委員会学校教育部 ：審議監）</p>	
<p>（受付 18:30） 18:45～20:45</p>	<p>懇親会</p>	<p>神戸ポートピアホテル 本館 1階 イタリアンパール 『EREMO』 (学術集会会場の建物とは異なります)</p>	

2日目：10月28日（日）9時～15時40分（予定）

（敬称略）

9:00-10:40	シンポジウム③	<p>座長；鈴木利人（順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院：精神科医） 座長；西郡秀和（東北大学病院周産母子センター：産婦人科医）</p> <p>「今あらためて注目したい：明日の周産期メンタルヘルス治療のために」</p> <p>1.「産婦人科医による周産期メンタルヘルス治療： どこまでやれるか、どこから連携するか？」 演者；宗田聡（広尾レディース：産婦人科医）</p> <p>2.「妊娠・産後の向精神薬薬物療法：どこまで理解され、これからの課題は何か？」 演者；鈴木利人（順天堂大学医学部附属 順天堂越谷病院メンタルクリニック：精神科医）</p> <p>3.「てんかんを持つ患者の周産期メンタルヘルス管理： 『発作は？遺伝は？薬の子供への影響は？』患者の不安にどう向き合うか」 演者；加藤昌明（むさしの国分寺クリニック：精神科医）</p> <p>4.「虎の門病院「妊娠と薬相談外来」の歴史：過去、現在、そしてこれから」 演者；山根律子（虎の門病院薬剤部：薬剤師）</p>	メイン会場
10:50-11:50	特別講演	<p>座長；佐藤昌司（大分県立病院 副院長 同 総合周産期母子医療センター 所長・産科部長）</p> <p>「妊産婦の自殺の実態とメンタルヘルス支援体制の充実に向けて」 演者；竹田省（順天堂大学医学部産婦人科 特任教授）</p>	メイン会場
11:50-13:00	休憩（昼食）	ランチョンセミナーはありません。	
13:00-14:00	ポスター発表		ポスター会場
14:10-15:30	特別企画	<p>「流産・死産を経験した女性と家族の体験、ピアサポート」</p> <p>コーディネーター；富田拓郎（中央大学文学部心理学専攻）：臨床心理士</p>	メイン会場
15:40-	閉会の挨拶		メイン会場